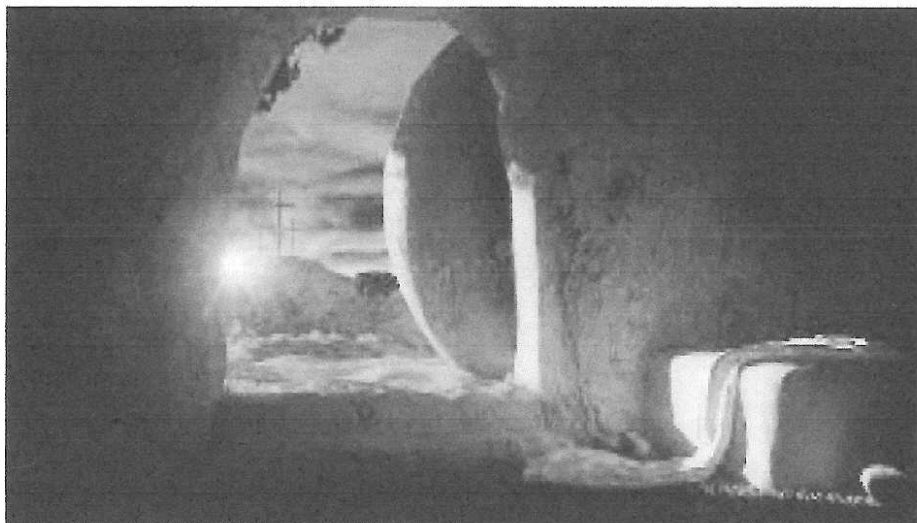


<復活の信仰>

マルコ16:1~11



<主我を愛す>

- | | |
|--|--|
| 1 主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらず
*わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われを愛す | 3 <u>御国の門(かど)を 開きてわれを
招(まね)き給えり 勇(いさ)みて昇らん</u> |
| 2 わが罪のため 栄えを捨てて
天(あめ)より降り 十字架につけり | 4 わが君イエスよ われをきよめて
良き働きを なさしめ給え |

- ・イエス・キリストが十字架で死んだ！ 誰よりも強い！ 何でも出来る！
なのに何故・・・?! キリストを慕う者達の期待を裏切った。

墓の前で、復活を期待して待っていた人は一人もいなかった。

- ・キリストは復活された。今も生きておられると信じているクリスチャンが沢山いる。
キリストについてのあかしが、あなたがたの中で確かになったから Iコリント1:6

「目からうろこ」・・・物事の実態がはっきりと見え、理解できるようになる。
するとただちに、サウロの目からうろこのような物が落ちて、目が見えるようになった。
彼は立ち上がって、バプテスマを受け 使徒9:18

- ・目からうろこが落ちたパウロは、
イエス・キリストが神なのだ！ 復活されたのだ！ とはっきり分かった。

・イエス・キリストを墓に葬った弟子達。

その後どんな思いで安息日を過ごしたのだろうか。

ペテロ・・・『イエスさまなんか知らない』と背を向けた自分が責められた。

週の初めの朝、墓に行ってみると・・・

墓の前の大きな石は転がっていた

墓の中は空っぽ。イエスさまの遺体がない！

「だれかが、主を墓から取り去りました。どこへ置いたのか、わかりません」 ヨハネ 20:2

死んだイエスさまを墓の中で探すマリヤ

受け入れがたい現実。目の前は真っ暗。

しかし、からし種ほどの信仰（主への信頼）を持てたら、真っ暗ではないことに気づける。その信仰は

空っぽの墓を見て「誰かが遺体を盗んでいった」ではなく

「きっと主が復活したに違いない」といえる。

マリヤは自分の名を呼ばれると、目の間にいる方がイエスさまだったと気づいた。

イエスは彼女に言われた。「わたしにすがりついてはいけません。

わたしはまだ父のもとに上っていないからです。」 ヨハネ 20:17

「すがりついてはいけない」とマリヤに言われたのは、何故？